

平成29年度 第1回用瀬地域振興会議 議事概要

【開催日時】

平成29年4月17日（月）午後4時～午後5時30分

【開催場所】

用瀬町総合支所 3階会議室

【参加者】

出席委員 西川功美、平井育子、山本慎介、谷本由美子、西村正雄、西村隆義、広田弥一郎、岸本美鈴、福山裕正、長谷川浩司、中村史生、亀谷幸子、以上12名（敬称略）

関係課 なし

事務局 田中用瀬町総合支所長、沖田副支所長、岡本産業建設課長、谷口市民福祉課長、堀場地域振興課課長補佐

傍聴者 なし

【次第】

- 1 開会
- 2 あいさつ 田中用瀬総合支所長
- 3 会長、副会長の選出について
会長 西川功美
副会長 平井育子

委員及び事務局職員自己紹介

- 4 議題・報告事項
(事務局 資料に基づき(1)～(4)一括説明)

- (1) 用瀬地域の課題等について
- (2) 平成29年度用瀬町総合支所管内関連予算について
- (3) 平成29年度会議スケジュールについて
- (4) 鳥取市地域内情報伝達設備整備事業補助金について

(会長)

(1)～(4)について意見や質問等あれば、お願いします。

(委員 1)

自治会長会においても情報提供が遅いと言っているところ、保育園の用地取得が今年度との説明だったが、施設や周辺を含めた見取図等は、いつ住民に知らされるか。

(事務局)

こども家庭課では、4月中を目途に用地取得契約を締結したいと考えています。今後は、概略設計の段階で保護者会役員や検討委員に案をお示しし、保育現場の意見も伺いながら設計等を進めていく予定です。具体的な日程は未定です。

(委員 1)

地域内行政情報について、資料を見るとCATV方式が有利と思われるが、用瀬地域の加入率はどれくらいか。

また、有線や無線の放送設備の管理は誰になるのか。

(事務局)

用瀬地域のCATV加入率は、60.9%です。用瀬地域でCATV方式を選択するとなれば、加入率をどう上げるかが検討課題と考えます。

有線、無線放送の場合、機器については各自治会での管理となります。

(委員 2)

主装置の管理について、どこから情報を登録し、発信するのか。

また、CATV方式は個別に情報を取りに行く方式であり、現在の放送を聞く方法と異なるので心配を感じている。

(事務局)

CATV方式では、電話で録音できますので、支所に来て録音するようなことはありません。また、エリアも区分けできるとのことで、各地域別等に行政情報伝達の方法について考えることは可能な課題と思われます。

有線放送の全町化は現実的でなく、断線の修理等の管理についても自治会の対応になります。

CATV方式の場合、自分で情報を取りに行くことは確かにデメリットではありますが、逆に時間や場所の制約を受けずに情報を得ることができるということが考えられます。

(委員 3)

個別には、いる・いないといった状況もあると思われるが、その場合の対応はどうか。

すでに青谷町では工事に入っていると聞かすが、青谷の現状はどうか。

(事務局)

設備を設置する・しないは個々の判断ですが、補助の申し込みについては基本的に自治会単位となります。

また、青谷町では、各戸に設置されていた防災行政無線の戸別受信機は昨年までに回収されています。よって本年度整備が急がれており、それに合わせてこの補助金事業制度が実施されるものです。

方式については今後検討されるようですが、青谷町のCATV加入率は92.1%と高率です。

(委員 4)

防災無線の屋外放送スピーカーが少ないように思うが、大丈夫か。今後増設するのか。

(事務局)

屋外装置については、増設されます。

(委員 5)

費用について、資料ではCATV未加入の場合は別途加入金等が必要とあるが、表に示されている額に加えて30,000円程度が必要となるということか。

(事務局)

そのとおりです。また、CATV利用料や音声告知端末の利用料が毎月必要となります。

(委員 5)

CATVに加入するとなると、表にある経費や維持費だけでは収まらないので、説明される際には誤解のないわかりやすい資料を作成する必要があるのではないか。

(事務局)

今回は本庁からの資料を転用していますが、地域での説明の際は用瀬地域にあった資料の作成をしたいと思います。

(委員 6)

地区の情報発信は、どのように行うのか。現在は防災無線で時間をいただいて、各地区限定の放送もしているが、その対応も可能なのか。

(事務局)

地区ごとの登録もできると聞いています。

(会長)

金銭が伴うことであり、最終的には各集落が決めるものと思われるが、自治会で統一しないと難しいと考える。この振興会議でも話し合い足並みが揃えられるようにした方がよいが、内容は各自治会での判断であり、この会議で決定するものではない。

(委員 5)

空き家・空き店舗を活用した事業の推進について、いずれ民間に委託したいとのことだが、どの程度の予算があるのか。

(事務局)

昨年度は全市で100万円、地区ごとでは50万円くらいの予算でしたが、本年度の情報については次回の会議にお示しします。

(会長)

町民会館の改修については、本年度施工となりお礼を申し上げる。

また、橋梁修繕事業について、説明では青滑橋ほか2か所とあったが、ほかはどこか。

(事務局)

南工事事務所に確認したところでは、山口地内の無名橋と聞いています。

(会長)

樟原橋高欄はかなり腐食して、危険な状況となっている。平成28年度予算で対応するよう聞いていたが、対応できていないように見受けられる。どうなっているか。

(事務局)

以前平成28年度に予算要求するとの回答をしていたところと思いますが、緊急的に高欄のみワンスパンの修繕か高欄全体の修繕かで予算等の対応が変わるため、再考し協議をするよう引き継がれているところです。

(委員7)

平成28年度予算で3月に修繕をするような話を聞いているのだが、確認してほしい。

(事務局)

今のところ緊急的なワンスパンの修繕は行なわず、対応について協議したいと考えています。3月に修繕するとの話は確認します。

(委員7)

これまで2度地域要望しているところであり、現地の状況に即した対応を早急に進めていただきたい。

(委員8)

用瀬アルプスについて、登山道の整備が不十分であり、観光資源、商品として宣伝するのであれば、安全性の担保が必要である。危険な箇所もあり、事故が発生してからでは遅い。

早急な対応を考えていただきたい。

(5) その他

(事務局)

本年度の主な行事予定について資料を添付しているので、ご覧ください。次回以降の会議の際、直近の行事については、またお知らせします。

また、振興会議の視察経費を予算化していますので、図書館との複合化、地域活性の先進視察等を実施したいと思います。

まず、庁舎耐震化についてですが、9月以降に測量試験調査し、建物の構造計算がされます。耐震基準に基づき、耐震壁等が必要となるため、現段階では庁舎内外の構造が判明しません。従いまして、こちらが出している画は現在の段階では取り上げられない状況です。今後意見を聞いていただく機会は約束しておりますので、それに向けご意見等まとめていきたいところです。

ハード的な部分をはじめ、図書館と支所の運営方針や地元意見反映状況も研究材料になると思われますので、次回5月の振興会議に視察の日程等提案させていただきたいと考えています。

次回5月に日程については、5月25日(木)午後1時30分から、用瀬町総合支所3階会

議室において開催することに決定。

(委員 2)

いつも午後からの開催となっているが、午前中にしてはどうか。

(事務局)

例年午後からとしていますが、ご意見があれば検討できます。

また、これまでされていた各委員さんの意見発表については、いかがでしょうか。

(会長)

意見発表は各委員の思いもあり、続けていきたいが、方法については考えてみます。

6 閉 会